

\*\*\*\*\*

## Femtet2018.1.1 更新履歴

\*\*\*\*\*

[A]：機能追加

[M]：機能変更

[B]：バグ修正

=====

- |              |  |
|--------------|--|
| A Parametric | スweep設定タブで既存設定の数値変更、リスト順変更ができるようにした        |
| A Descartes  | マーカ情報プロパティから枠線表示切り替え、系列タイトル表示切り替えをできるようにした |
| A Descartes  | マーカ情報プロパティからフォント変更機能を追加                    |
| A Luvens     | 結果テーブルに回路電力を追加                             |
| A Luvens     | 任意波形入力時の繰り返しをグラフで確認できるようにした                |
| A Luvens     | 回転機で一定速度の場合に、過渡解析タブに回転角情報を表示するようにした        |
| A Luvens     | 強制電流密度+渦電流密度を電流密度として表示できるようにした             |
| A Hertz      | 特性インピーダンス( $Z_{pi}$ )が出力できるようにした           |
| A Hertz      | 周波数スweepの方法に補間スweepを追加                     |
| A Hertz      | メッシュ G2 でのアダプティブメッシュを改良                    |
| A UI         | 2次元解析時、奥行き方向の厚みを解析空間ダイアログで設定できるようにした       |
| A UI         | ボディ属性の厚み/幅タブを分かりやすいよう改良                    |

- A UI 磁石の B-H カーブ入力時のダイアログチェック機能追加
- A UI アプリケーションメニューに、ショートカットキー設定とクイックアクセスツールバー設定を追加した
- A FemtetMacro ヒーリングを実行するマクロを追加した。

- 
- M モデラ ヒーリングの微小面削除処理を改善した。
  - M 結果表示 節点力のフィールドではコンターとグラフボタンを押せなくした
  - M 結果表示 変位図の場合は変位を考慮した座標で視点の回転中心を計算するようにした
  - M 結果表示 描画設定の最大値、最小値の表記に数値表記の接頭辞の設定を反映するようにした
  - M 結果表示 全結果まとめ表示をテーブルのデフォルト表示とした
  - M UI ダイアログの改良(電磁波解析オプション他)
  - M UI 熱伝導解析の対流補正係数設定を高度な設定タブに移動
  - M UI 応力解析の接触解析設定を高度な設計タブの応力解析/圧電解析の設定に移動
  - M Pythagoras 完全一致のシートボディは重複を許し、それぞれにメッシュを作成するように変更
  - M Pythagoras メッシュ G2 で「曲面を平面化する」のデフォルトを OFF から ON に変更
  - M Pythagoras 曲面の平面化を Paasolid 関数から自作の関数に変更することで、曲面のメッシュ分割がより安定化
  - M Pythagoras シートボディが重なっている場合、応力解析と熱伝導解析に限り重複を許し、それぞれにメッシュを作成する
  - M Galileo マルチグリッド法を使用不可とした
  - M Galileo 非線形解析や過渡解析の場合の結果表示モードの初期設定を最終モードに変更。
  - M Watt マルチグリッド法を使用不可とした
  - M Watt 過渡解析の場合の結果表示モードの初期設定を最終モードに変更。

M Watt	ボディ間の熱流束境界がある場合の処理内容をワーニングとして出力するようにした
M Watt/Curie	熱抵抗境界の第1面、第2面の設定基準を変更（境界条件の設定を行った側を第1面とする）
M Coulomb	マルチグリッド法を使用不可とした
M Pascal	固体/流体の設定をボディ属性で設定する方法から材料定数で設定する方法に変更した
M Hertz	調和解析で伝搬しないモードを選択した場合でもポートの解析結果を出力するように変更した
M Rayleigh	不適切な境界条件が付与されているモデルを解析した場合のエラーメッセージを改良した

---

B モデラ	解析実行時に画面全体が真っ黒になる不具合を修正
B モデラ	パラメトリック解析後に毎回結果削除確認のメッセージが出る不具合を修正
B モデラ	<b>DXF</b> インポート後にボディツリーのグループ名と一致しない位置にボディが表示されている不具合を修正
B モデラ	プロパティから境界条件で対称面を設定時にエラーとなる不具合を修正
B モデラ	グループが存在するときにボディツリーにボディが表示されない不具合を修正
B モデラ	パラメトリック解析ダイアログのスワイプテーブルで編集時に <b>Enter/Tab</b> を押したときの挙動を修正
B モデラ	ボディをクリックしたときに「引数が正しくありません」のエラーが出る不具合を修正
B モデラ	ツリー上で境界条件のチェックボックスを一つオンにしたときにすべての境界条件が表示される不具合を修正
B モデラ	ブラックボックス <b>DB</b> データ内に定義された積分路が反映されない場合がある不具合を修正
B モデラ	磁場解析でのループコイルの矢印表示位置を改善
B モデラ	全体設定で透明度変更時に半透明表示がオンの場合でも半透明にするかの確認ダイアログが表示される不具合を修正
B モデラ	複数の解析モデルの結果があるプロジェクトを保存時に異常終了する不具合を修正
B モデラ	パラメトリック解析で結果取得座標の数が多いときに計算開始時にフリーズする不具合を修正

B モデラ	解析結果が存在する解析モデルの名前を変更すると異常終了する不具合を修正
B UI	複数のボディを選択して色を設定した場合に、選択後の色と同じボディが存在した場合は色の変更されない不具合を修正
B 結果表示	成分がベクトル以外の時に流線が表示されない不具合を修正
B 結果表示	周期対称境界条件の場合に対称モデルの全体モデル表示ができない不具合を修正
B 結果表示	中心座標が原点以外のとき円弧上のグラフが正常に計算できない不具合を修正
B 結果表示	節点ベクトルの結果を表示後に他のフィールドの結果がおかしくなる不具合を修正
B 結果表示	節点間距離計算で変位を考慮した計算が正しくできない不具合を修正
B 結果表示	非表示ボディが存在するときに選択面の流線が表示されない不具合を修正
B 結果表示	周辺電磁界を <b>Polar</b> グラフで描画すると異常終了する不具合を修正
B 結果表示	電場熱解析で電流密度のコンター図がおかしくなる不具合を修正
B 結果表示	電磁波解析の指向性 3D 表示で異常終了する不具合を修正
B Descartes	ラインマーカが存在する場合にクリップボードに無駄な余白がコピーされる不具合を修正
B Pythagoras	計算結果テーブルの「メッシュ情報(ボディ毎)」が正しい値が出力されていなかったのを修正
B Pythagoras	メッシュ G2 の 3 次元解析で熱抵抗境界が複数存在する場合に結果がおかしくなる不具合を修正
B Pythagoras	点の挿入が遅くなっていたのを改善
B Watt	境界条件の種類を切り替えたときに、自然対流自動計算や断熱境界が正常に機能しない不具合を修正
B Watt/Curie	熱抵抗境界の第 1 面、第 2 面の境界温度、熱流量などのテーブル値がおかしくなる不具合を修正
B Curie	過渡解析で境界温度、熱流量などのテーブル値がおかしくなる不具合を修正
B Galileo	マイクロメートル単位系や非線形材料を使用した場合に発生していた簡易接触機能の不具合を修正
B Galileo	熱過渡との連成解析で基準温度と初期温度が異なる場合や結果インポート設定が初期温度の場合に時刻 0 秒の応力解析を実施するよう修正
B Rayleigh	調和解析の途中で中断した場合の結果表示を改善
B Rayleigh	結果テーブルの共振周波数と反共振周波数の差の計算方法を改良

- |            |   |
|------------|---|
| B Rayleigh | 材料 DB から導体材料を選択した場合の不具合を修正                  |
| B Rayleigh | 共振解析でのインピーダンス計算方法を改良                        |
| B Rayleigh | 機械的境界条件の等変位が正常に機能していなかったのを修正                |
| B Rayleigh | 電極の扱いにおける誤りが原因で従来解析できたプロジェクトに失敗するという不具合を修正  |
| B Hertz    | 基準インピーダンスが虚部を持つ場合に結果フィールドがおかしくなる不具合を修正      |
| B Luvens   | 外部回路の三相電流源(IUVW)素子で任意波形テーブルが電圧になっていたのを電流に修正 |
| B Luvens   | 回路図エディタのツールバーに使用できない GND 素子アイコンが存在していたのを削除  |
| B Luvens   | ボディが 100 個以上ある場合、計算時に E5000 エラーが出る不具合を修正    |

=====